

公共事業環境配慮書

農政部 農地整備課

事業名称		
事業名	県営農村地域防災減災事業	
整理番号	31-5	
事業の種類	ため池の改修	
市町村名	松本市	
箇所名	田溝池(松本市大字岡田)	
事業年度	平成30年度～令和3年度	
事業概要		
目的	平成25年度に実施した耐震性点検の結果、堤体上流側法面及び下流側法面の安全性が確保されていないことが確認されたため、本事業により耐震対策を実施し、地域住民の安全・安心と農業用水の安定確保を図る。	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	ため池 N=1箇所(押え盛土工 L=135m)	
関連する事業計画	なし	
その他特記事項	なし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	農業振興地域の整備に関する法律 都市計画法の市街化調整区域	
その他	なし	
社会的要素 留意すべき地域の概況		
交通の現況	事業区域の北東側に国道143号及び国道254号線が位置する。	
土地利用の現況	山地・丘陵である	
生活関連施設の現況	周辺に住居はない	
その他	特になし	
自然的環境要素 環境配慮の方針		
大気環境	留意すべき地域の概況	特になし
	【大気汚染の防止】	
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行はできるだけ避ける。 ・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い、粉じんの飛散を防止する。 ・排出ガス対策型の車両や機械を使用する。	
	【騒音、振動の防止】 ・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働をできるだけ避ける。	
水環境	留意すべき地域の概況	中池、六助池がある
	【水質汚濁の防止】	
	・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。 ・地盤改良を行う場合は、適切な固化材を選定し、必要最低限の添加量範囲とする。	
	【水循環の保全】 上流からの流入水は仮廻しを行い、受益地への用水を確保する。	
地形・地質	留意すべき地域の概況	丘陵である 砂岩である
	【改変面積の最小化】	
	・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。 ・工事施工ヤードの設置は、必要最小限の面積とする。 ・法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊の発生を防止する。	

野生動植物	留意すべき地域の概況	松本市田園環境整備マスタープランにおける環境配慮区域である。 平成28年10月に環境配慮対策についての打合せを行った。 ヘラブナの生息地である。
	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・工事実施前に現地調査を行い、希少動植物が確認された場合は、必要に応じて保全処置を行う。	
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	工事着手前にヘラブナの生息を確認し、生息適地へ移動する。 特定外来魚の生息を確認した場合は、できるだけ駆除し、下流域に流出しないよう努める。 工事機械を搬入する際に、機体の汚れがないか確認し、外来植物が侵入しないよう留意する。 動植物への負荷の少ない素材(砕石)を使用する。	
	【地域独自の生物多様性の保全】	
・表土を植生用客土として活用し、在来種による植栽・緑化を行う。		
景観	留意すべき地域の概況	湖沼景観を形成している
	【すぐれた景観の保全】	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
【良好な景観の育成】		
・周辺の景観に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。		
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	付近に農村公園がある
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
・不特定多数の人が利用している農村公園に重大な影響を与える周辺環境の改変をできるだけ避ける。		
文化財等	留意すべき地域の概況	周知の埋蔵文化財包蔵地がある
	【文化財等への配慮】	
・詳細設計後、松本市教育委員会と調整する。		
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設廃棄物や建設残土を適正に処理する。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
【資源の有効利用】		
・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。		
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	
・点検整備を行い、適正な燃費消費率を維持する。		

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	野生動植物	工事の実施に当たっては、工事機械をよく洗浄するなど外来植物を持ち込まないよう努めてください。	工事機械を搬入する際に、機体の汚れがないか確認し、外来植物が侵入しないよう留意します。
2	野生動植物	特定外来魚のオオクチバス、コクチバス、ブルーギルが生息する場合には、できるだけ駆除するとともに、下流域に流出しないよう努めてください。	特定外来魚の生息を確認した場合は、できるだけ駆除し、下流域に流出しないよう努める。
3	野生動植物	工事実施前に現地調査等を行い、重要な動植物の生息・生育が確認された場合は、回避措置を基本とした保全措置を検討するよう努めてください。また、回避措置ができない場合は、重要な動植物を生息・生育適地に移す等の措置を講ずるよう努めてください。	工事着手前に現地調査を行い、希少動植物が確認された場合は、必要に応じて保全処置を行う。 (この現場周辺に希少動植物が存在しないことを松本市教育委員会に確認している)
4	野生動植物	自然石、自然素材又は多自然型製品等動植物への負荷の少ない素材を使用するよう努めてください。	動植物への負荷の少ない素材(砕石)を使用する。